

アンケート実施協力のご依頼

学校法人早稲田大学

10月21日

自動荷降ろし技術活用の調査に関するご依頼

学校法人早稲田大学は「スマート物流サービス」にて、「荷物データを自動収集できる自動荷降ろし技術」に関する研究開発を実施しております。

この研究で開発した技術は、様々な業界での実用化を目指しております。

本研究で開発した技術の社会普及を実現するため、製造、卸、小売り、倉庫、運輸などサプライチェーンに関わる様々な業界での「荷物データを自動収集できる自動荷降ろし技術」導入の可能性について、市場調査を行います。

「自動荷降ろし技術」を概念実証したプロトタイプと融合できれば、フィジカル空間とデジタル空間を高度に融合し、社会問題を解決するという「Society 5.0」が示す目標と合致し、スマート物流全体の評価につながると考えております。お手数をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

どうぞよろしくお願いいたします。

1.ご依頼の背景 1/2

スマート物流に早稲田大学も参加

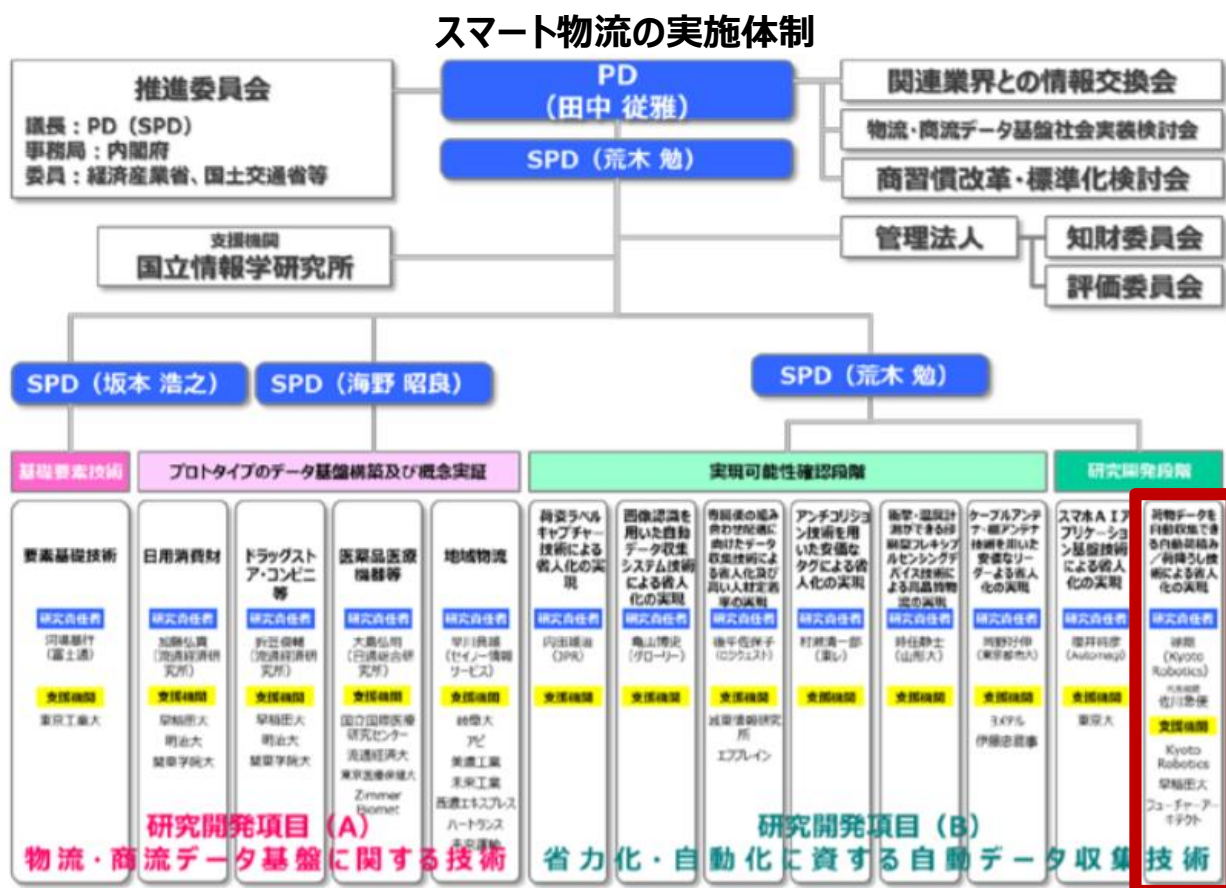
府省の枠や旧来の分野を超えた横断型の国家プロジェクト「**戦略的イノベーション創造プログラム**」のテーマの一つであります、**スマート物流に早稲田大学も参加**をしております。

SIP第2期 テーマリスト(全12項)

No.	分野	課題名
1	サイバー空間基盤技術	ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術
2	フィジカル空間基盤技術	フィジカル領域デジタルデータ処理基盤技術
3	セキュリティ（サイバー・フィジカル・セキュリティ）	IoT社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ
4	自動走行	自動運転（システムとサービスの実用化）
5	材料開発基盤	統合型材料開発システムによるマテリアル革命
6	光・量子技術基盤	光・量子を活用したSociety 5.0実現化技術
7	バイオ・農業	スマートバイオ産業・農業基盤技術
8	エネルギー・環境	脱炭素社会実現のためのエネルギーシステム
9	防災・減殺	国家レジリエンス（防災・減殺）の強化
10	健康・医療	AIホスピタルによる高度診断・治療システム
11	物流（陸上・会場）	スマート物流サービス
12	海洋	革新的深海資源調査技術

1.ご依頼の背景 2/2

早稲田大学は「荷物データを自動収集できる荷降ろし技術の開発」というテーマで採択
 現在、作成予定の自動荷降ろしロボットのニーズがどれだけあるか広く調査している



「荷物データを自動収集できる荷降ろし技術の開発」というテーマで採択

2.SIPで開発する自動荷降ろしロボットの特徴

SIPでは大小様々な荷物を取り扱うことが出来る自動荷降ろしロボットを開発
自動荷降ろしロボットを改良し、荷積みも自動化することも検討中

SIPで創出する自動荷降ろしロボットの特徴

特徴① 500個/時間の混載荷降ろし

人手作業の代替に十分な能力

特徴② 小スペースで動作

3m×3m以内のスペースで動作、
既存の中継センターにも設置可能

特徴③ 様々な積み付け形態に対応

トラックコンテナへの直積みに加え、パレット・カゴ車へも対応
GoalやSGLでも活用可能と想定

特徴④ 販売価格の低価格化

現状、販売価格3,000万円以上する荷降ろしロボットの
低価格化を目指す

